

## 2023 年度 学校関係者評価 学校法人都城コア学園 都城コアカレッジ

### 1 自己評価の目的と実施方法

学校運営が教育目標に沿って計画的に実施され、地域社会や企業・施設等のニーズに合致したものであるかを検証するとともに、学生が実践的な知識・技術を習得し、社会人としての責任の自覚を確認することで、学校改善を図り、教育水準を向上させることを目的とする。

評価に当たっては、4段階評価とし、可能な限り根拠や課題・改善策を明示するものとする。

なお、この自己評価結果は、学校関係者評価委員会に図り、その結果は公表する。

### 2 評価内容・項目

#### (1) 教育理念・目的等の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

教育目的・教育目標・育成人材像は定められ、周知されているか。	4	3	2	1
学校の特色は明確にされているか。	4	3	2	1
地域社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1

#### ※学校関係者評価

・良い取り組みを SNS 等で発信し、地域社会にアピールしてほしい。

#### (2) 学校運営の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

教育目的等に沿った運営方針は定められているか。	4	3	2	1
運営方針に沿った事業計画は定められているか。	4	3	2	1
運営組織や意思決定機能は明確にされ、有効に機能しているか。	4	3	2	1
人事や資金での処遇に関する規定等は整備されているか。	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	3	2	1
教育活動等における情報公開が適切になされているか。	4	3	2	1

#### (3) 教育活動の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

各学科目標は対応する業界の人材ニーズに方向づけられているか。	4	3	2	1
教育理念や学科目標に沿うカリキュラムが体系的に編成されているか。	4	3	2	1
企業・施設との連携により、カリキュラムの見直しが行われているか。	4	3	2	1
キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫等が行われているか。	4	3	2	1
資格取得の指導体制、カリキュラムでの体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1
各学科の学習時間は確保されているか。	4	3	2	1
各学科の教育到達レベルは明確にされているか。	4	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1
教師のスキルアップや指導力向上の研修が行われているか。	4	3	2	1

#### ※学校関係者評価

- ・ICT 分野では ICT の専門家と一般の顧客をどうつないでいくかが重要になる。そのコーディネートができる人材育成も求められる。
- ・クラウドでのシステム開発について、自前でもっている企業は個人情報を取り扱っているところがほとんどである。学校としてもカリキュラムで取り扱ってほしい。
- ・以前は介護施設間の交流会があったが、コロナ以降も実施できていない。コアカレッジの学生が施設間の交流会を企画立案し、施設の職員も参加している。参加した職員からは有意義だったと聞かされている。今後も継続してほしい。

- ・さまざまな学科があるので、連携して学生を教育し、ICT やプレゼンテーションの技術を高めてほしい。
- ・学校に VR を導入してほしい。
- ・電話対応の指導も行ってほしい。

(4) 教育成果の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1
全員進級への取組がなされているか。	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1

※学校関係者評価

- ・医療事務職の採用に当たり、コンピュータの技能については「それなりにできます」と答える人が多い。実際にそれなりである。高い技能を目指してほしい。
- ・医療事務職において、男性の現状は給与面や生活していけるか心配である。男子学生を募集しても希望者は少ないと思われる。
- ・医療事務職において、今後はピッキングなどの技能が必要になるかもしれない。

(5) 学生支援の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

就職・進学に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	4	3	2	1
学生自治会活動等への支援体制はあるか。	4	3	2	1
高校との連携によるキャリア教育の取組が行われているか。	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1

※学校関係者評価

- ・福祉施設ではコアカレッジの卒業生が多く就職しており、長く勤務し、管理職になっている。コアカレッジで勉強しながら、アルバイト等も経験してから、就職してほしい。
- ・医療機関は人手不足で困っている。大都市部では業務の外部委託が始まっている。

(6) 教育環境の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

施設・設備は教育上の必要性に対応できるように整備され、適切に管理されているか。	4	3	2	1
学外の実習施設等について、十分な教育体制を整備しているか。	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか。	4	3	2	1

※学校関係者評価

- ・サーバー構築は実機 1 台で仮想環境を複数、行うことができる。ただし、容量もスペックも必要となり、経費もかかる。映像解析がアルゴリズムを似ているところがあるので、AI が重要になってくる。

(7) 学生募集と受け入れの自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

学生募集活動は適正に行われているか。	4	3	<input checked="" type="checkbox"/> 2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
学生納付金は妥当なものとなっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1

※学校関係者評価

- ・高校生は職業体験の有無が進路決定に影響する。
- ・介護福祉科のオープンキャンパスに現職の介護福祉士の協力をもらい、高校生と保護者に体験的な活動を行っている。非常に良い実践だと思う。その逆のバージョンとして、学生と職員が施設に出向き、ウィンウィンの関係をつくっていったらどうか。高校生が施設にボランティアで訪れる際に、コアカレッジの紹介もできる。
- ・国家試験の合格率が学生募集につながると考える。
- ・現職の介護職も介護は大変と思っている。関係者や関係団体も介護職の魅力の発進ができていない。オープンキャンパスには協力したい。
- ・介護福祉科の募集を停止する地域の高校生をターゲットにする方策を考えてはどうか。

(8) 財務の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか。	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1

(9) 法令等の遵守の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1
自己評価結果を公開しているか。	4	<input checked="" type="checkbox"/> 3	2	1

(10) 社会貢献の自己評価 ●適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1

地域に対する公開講座・社会訓練の受託等を積極的に実施しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 4	3	2	1